

# 議 事 録

令和元年11月25日

会 議 名	一般社団法人天草宝島観光協会第4回理事会
日 時	期 日：令和元年10月2日（水） 時 間：14時00分～15時30分
場 所	天草市商工会 大会議室
議 事 内 容	
出席者	出席理事：山本博、馬場昭治、下田昇一郎、上亜希子、山下修平、松本國雄、松本英樹、原田茂、金子信之、浜悦男、永田章一、田口京重、濱崎宗治、田中光徳、下田貴久、中村健一郎 16名 欠席理事：浜崎昭臣、高廣宗明、松永英也、平下豊、崎本弘訓、藤本貴士、米田揚昌 7名 出席監事：田崎良輔、岡部秀喜 事務局：赤木聖一、城下聡子、大塚純子、中村彩、吉田綾、濱崎美圭、古川雄一、塚本美嘉 8名 支部事務局：天草支部田中、五和支部担当山下
議事録署名者	会長 山本博 監事 田崎良輔 監事 岡部秀喜
議 題	別添レジュメのとおり
1 開会	(専務理事 馬場) 只今から令和元年度天草宝島観光協会第4回の理事会を開催いたします。新体制山本会長になりましてから2回目の理事会になります。初めて出席の方もいらっしゃいますけれどもどうぞよろしくお願い致します。先に説明をしておきますと山本会長の方から指名を受けまして私馬場が専務理事という形でやらせていただくことになりました。専務理事と言っても常勤ではありませんので、あくまでもこの会議の進行と議事を進めていくための司会進行をさせていただくということで仰せつかっておりますので一生懸命頑張りたいと思います。よろしくお願い致します。それでは早速開会のほうに入りたいと思います。開会の前に事務局から新しい人の紹介をさせていただきたいと思います。

(一社) 天草宝島観光協会

(事務局 塚本)

8月から入社いたしました塚本と申しますよろしくお願ひいたします。簡単に自己紹介させていただきますと、私茨城県から移住してまいりまして、その前は東京のNTTデータという会社で総務省さんの業務システムを作るような、ずっと1日じゅうパソコンの前にいるような仕事をしておりました。このままサラリーマンを続けていくのも、仕事のために生きてるのか、生きてるために仕事しているのかよくわからなくなってまいりまして、いろいろリセットしたいなと思って天草の方に移住してまいりました。まだまだ知らないことばかりですけども天草のいい所を皆さんに知ってもらって、いい旅行ができたとか、天草いいところだったという感想をたくさんいただいて、楽しんで天草を訪れていただける方が増えるように、外部の目を私が持っている特徴かなと思いますので、皆さんのお手伝いができればと思います。今年度までの契約ですねよろしくお願ひいたします。

(専務理事 馬場)

ありがとうございます。よろしいですかね。

(事務局 赤木)

はい。

(専務理事 馬場)

それでは、塚本さんよろしくお願ひします。外部の目として天草のこと見ていただいて、アドバイス等よろしくお願ひいたします。まず最初に会長報告ということで、最初は会長挨拶ということでしたけれども、会長として活動報告をやるということで連絡がありましたので報告と合わせて活動報告のほうをお願ひします。

## 2 会長報告

(山本会長)

皆さんこんにちは。お忙しい中にお集まりいただきましてありがとうございます。6月の総会で会長を承認して頂きましてから、7月、8月、9月とまるまる3ヶ月が過ぎました。会長になってみて思ったことは、私も本渡支部の支部長として、本会の理事として会議などに参加していましたが、会長が何をされているのかというのは本当に知らなかったなと。会長という職が全然どういったことをやっているのかわからないままで、会長になってから初めていろいろなところに出かけて、いろいろなことが起こってるんだなというのを感じました。理事会にいるときもいろいろ感じてはいたんですけども、いろいろ不思議だなと思う事の原因の1つが情報の共有不足ですね。支部だったりこの理事会だったり観光協会そのものですね、自分が所属している支部の事はそれぞれ皆さん詳しいですけども、天草宝島観光協会全体と

なるとですね、なかなか情報の共有ができていないなということを感じましたので、会長の挨拶として5分、10分程度ではなく私の報告ということかねて少し時間を取っていただくように今回はこのような時間をいただきました。会長報告というのは事前に皆さんに資料をお配りして、私が報告書という形で書かせて頂いています。1つ1つ詳しく述べることはありませんけれども、今回初めてですので、なるべく会長としてご案内がかかるようなものにはすべて顔を出して、どういうふうな事が進んでいるのか把握しようと思ひまして、なるべく時間を作っております。その中でも特に気になること1つが、天草の幹線道路進めていくにあたって、市の市長さん、商工会の会長さん達と一緒に熊本、福岡、東京までですねお願いに行っていました。その時に私は観光協会の会長ですので、観光という分野でいろいろと意見というか話をさせていただきました。けれども今道路ができる一番の理由というか、進めやすいのはですねライフライン。最近災害がものすごく多くなってきて、ライフラインというのを軸にお願いをした方が予算がおりやすい。観光という面でこちらがお話をして国の方もなかなか耳を傾けてくださらないような状態でした。ちょっと前まではですね観光という分野で少し予算がおりたりしていたようなんですけれども、最近は観光という分野ではなかなか道を整備するところまで予算をつけるのは難しいというような雰囲気でした。だからといって行かないということはやりませんので、今月もまた熊本の方に熊本天草幹線道路要望活動ということで県に話に行っていました。その時に県の観光課の方たち県知事とアポイントを取りましたので、会長に新しくなりましたので、ご挨拶をかねていろいろな話をしてきたいと思ひています。今天草市から補助事業、委託事業ということで予算をたくさんいただいているんですけれども、国、県でもたくさん観光の予算を持っておられます。そういったことの情報が弱いということ、会員様方からご意見をいただきました。今回初めてではないですけれども熊本県の観光のチャレンジ事業の方に申請をさせていただきまして、12月から始まる夜美鍋キャンペーンにチャレンジ事業として申請をさせていただきました。事業部の大塚のほうにプレゼンに行っていたんですけれども、新規事業が予算を取りやすい、新規事業を応援するという意味合いが強い中3回目となる夜美鍋はですね、なかなか予算が降りないだろうというような話をいただきましたが無事突破して、宣伝等に使える100万という予算を、宝島観光協会の予算とは別に県から100万円ほど夜美鍋を推進していくための予算を確保することができました。こういう形で県だったり、国だったりいろいろと観光について使える予算があれば情報を聞き出して活用できないかということを進めていければと思ひますので、県に行きました時には県知事ともお話をいろいろと活用できるものがないか話をしたいと思ひしております。天草宇土半島観光連盟というものがあまして、皆さんご承知かわかりませんが、天草四郎誕生400年に向けての誕生祭への取組というのを上天草と観光連盟と進めております。天草四郎のアニメの絵にした旗が観光協会にかかっているかと思うんですけれども、こちらを天草宝島観光協会としても進めています。これも私も知らないようなことでしたので、やはり会長として参加して、会員様方にもきちんとお伝えをしていかないといけないなと、周知自体もなかなかできていないので、宝島観光協会としても来年、再来年天草四郎誕生400周年の

**(一社) 天草宝島観光協会**

記念の年ということでそれに向けての取組をしておりますので、宝島観光協会いろいろなイベントのチラシそういったものにも生誕400年祭と入れ込むような形にして少しづつ盛上げていくような形にしていきたいと思っております。この3ヶ月だけでも出ることがたくさんありまして、いろんなところに行かせていただきまして、いろいろな話をさせていただいております。会長にならないと分からないようなことがいっぱいあるなと改めて思いましたので、前会長の永田さん本当に大変だったんだろうなと、たった3ヶ月ですけれども思いました。まだまだ知らないこともたくさんありますし宝島観光協会のこと自体変えていかないと行けない所たくさんあると思っております。できるだけいろいろな事をきちんと学びながら、ここにいる理事の皆様方にも情報共有して宝島観光協会としてどういう風な道筋で進んでいくかという事をお話できるようにしていきたいと思っております。それと事務局の方へいくつかお願いをしております、三役会、理事会を議事録というのをきちんと取っておりますので、議事録を理事会の時に資料として必ずつけるように指示を出しております。それがなぜかという、理事会に参加できない理事の方たくさんいらっしゃいます。その時にどういった話になっているのかが参加していないのでわからないということもあるかと思っております。三役会も私と副会長でお話することですのでどういった経緯でどういった風に進んでいるの理事さんはわからないと思っておりますので、議事録をつけさせていただいて三役会でどういった話をして、どういった流れで理事会にかけたのかという経緯がきちんとわかるようにしていきたいと思っております。毎回理事会の資料が多めになって読むのが大変になるかもしれませんが、できるだけこの議事録を読んでいただければご意見があるときには理事会の時に発言をいただければ、それをもとにいろいろと改善をしていきたいと思っております。少し速足で話すことになりましてけれども会長の報告ということで閉めさせていただきたいと思っております。今日はよろしく願いいたします。

#### (1) 状況報告について

##### (事務局 大塚)

本理事会理事さんが16名出席されておりますので理事会が成立することをご報告いたします。資料の17ページ、18ページをご覧ください。17ページのほうなんです、平成30年度、昨年度の11宿泊施設の対前年比の分析が終了しましたのでご報告します。対前年比トータル102%となっております。18ページをご覧ください。崎津観光案内所、教会の近くにある案内所でカウントした来場者数となっております。ちょっと分かりにくくなっているんですけども、下から4番目の4月の数字が8,189名が令和元年度の数字となっております。昨年世界遺産登録された時が一番上の数字になっておりまして、それより若干下がってきておりまして、8月が70%程度、9月の数字が先ほどまとまりましたので報告させていただきます。9月の数字が13,329人となっております。お知らせなんですけれども、崎津教会の方がスタンドグラス、窓枠の工事が10月下旬ぐらいから来年の2月くらいまで、まだ期間がはっきりしないんですけども工事に入る予定になっております。外側に足場を組まれて工事をされる予定にはなっているんですけども、中のほうの拝観はできるようになってます。詳しい日時が決まりましたら

観光協会のホームページでお知らせしたいかと思っておりますのでご覧いただきまして、お客様のほうにお伝えいただければと思います。以上報告になります。

(山本会長)

大江教会も改装中なのかな。それで拝観ができない。

(事務局 大塚)

大江教会の方が外壁と床のカーペットを変えたりということで、足場が組まれておりまして、そちらの方は全体的に覆われておりますので中の見学の方が現在できないようになっております。一応工事の終了が11月末を予定しております、それまでには終了するというところでイルミネーションの時期には中に入れるようになるのかなというところです。

(専務理事 馬場)

今の現状の3月までの宿泊者数の結果そこまでは落ちてないと。半分まで落ち込んでいると新聞の方では書いてありましたけれどそこまでは落ちていないということですね。

(事務局 赤木)

はい。そうですね。

(金子理事)

観光宿泊者数の統計なんですけれども、前回の理事会の時にも出たと思いますが、主要11施設だけじゃなくて、すべての民宿、旅館あたり調査をして把握していると思うんですけど。天草市内の全ての民宿、旅館あたりの数字を出してもらえないのか。

(中村理事)

今おっしゃいますように、全施設調査をかけさせていただいております。ただなかなか何回お願いしても出して頂けない施設もございまして、全施設出すのは不可能かなというぐらいに思っているところもあるんですけれども、ずっと繰り返しお願いをしながらやっていこうと思っておりますので、本来であれば9月にはちゃんと出すべき事だと思うんですがその辺ちょっとご了承承頂いて。出しているところは毎月報告させていただいておりますので、例えば40とか50とかそういうところの数字はだいたい把握をしております。そういうことでよろしければ出していけるかなと思っております。私も昨日確認したところ提出率が45%ぐらい提出されておりました。ずっとお願いをしてるんですが、こういう状況でございます。すいません

(馬場専務理事)

100%ということはありませんので、提出されるところが5%でも10%でも出すべきだと

思います。観光振興課はそれが出せないという話でなはいんですよね。

(中村理事)

それはないです。ただ個別の旅館やホテルの名称は出せません。出していただいたものは出せますけれども。

(山本会長)

事務局の方と話をさせていただいて、対象施設が何施設あってほしい何人入るかの数ができれば、その数だけでも集めていただくと数字がわかりやすいかなと思いますけれども。

(中村理事)

では、そのようにこれからさせていただきます。施設自体は天草市で99施設あります。

(永田理事)

提案なんですけれども昨年対比で出してあるが年計を出すと非常に数字が分かりやすいのでは、例えば8月～7月、8月末だと昨年9月～8月の年計グラフを作ると、やってきた事が分かると思う。

(事務局 赤木)

例えば今日の理事会に出すときには6月まで数字が分かっています。

(永田理事)

昨年の7月から6月までの1年間

(事務局 赤木)

昨年の7月から6月までの1年間の、そういうことですね。

(永田理事)

そしたら毎月トータルが変わってくるので。昨年の1ヶ月と新しい1ヶ月の売上。

(事務局 赤木)

例えば今度12月にするときに、9月までの数字が分かったら、10をスタートして9の1年間の数字ということですよ。

(永田理事)

そうそうそう。年間1年間で数字を出していくと今のよりわかりやすい。改めて説明します。

(濱崎理事)

じゃらん、楽天の数字でいうとだいたい売上が出ている8月で恐らく亀屋、大江戸温泉がオープンし、じゃらんで上天草市159%、うちは94%。100%を切っている、同じように望洋閣に聞いたところ、100%を切っている。エージェント対象の宿より、個人を対象の宿が対前年比落ちている。自分の所は楽天サイトのサマーセールを2,000円引き行ったところなんか1%減になった。上天草は大江戸温泉がオープンし、相乗効果で伸びている逆に下島は厳しい。そういったことは、事務局長把握しているんですか。

(事務局 赤木)

具体的な数字までは把握してないです。

(濱崎理事)

それは現場に聞けば教えてやるよ。私はじゃらん、楽天を利用しているから。現場の動きを把握して、そういう意識の中で取組んで行かないと落ち込んでしまう。市の統計もしているかと思うが、落ち込んでいると思うよ。全体的に厳しいということですよ。10月、11月も。天草下島については厳しい。

(馬場専務理事)

今濱崎理事から話がありましたように、じゃらんとか楽天とかの数字、データお持ちであればぜひ出していただいているのかと思いますね。どういう理由、原因でよそがなってて、こちらが落ち込んでいるか、追及していかなければならないと思いますね。

(濱崎理事)

終わった結果よりも発生している今後の状況を把握していかないと。

以上の意見のやり取りを行い、第1号議案の状況報告についての審議を終えた。

(2) 総務専門委員会、事業専門委員会について

(松本理事)

総務委員会の委員長を仰せつかっています松本です。先日専門委員会を開きましてその中で決まったことを報告したいと思います。10月に天草市に令和2年度事業計画案、予算案を提出し、その後予算の折衝を行っていき、3月の議会で最終決定となる予定です。全体額が未定のため、支部全体予算額は15,000,000万円、その中に会長決裁枠を含むむということで、要求するというので報告を受けています。その中で各事業を同じような事業。例えば、

マリンスポーツなどは横の連携を図りながら1つにまとめて、観光協会全体としての事業にしたかどうかという意見が出ております。また天草市と事務局との、例えば地域、地区の振興会で行う事業、観光協会で行う事業の仕分け作業、予算作成についてのルールなどのたたき台を作成し、総務委員会で検討して決めていくということが議題であがっております。また最後に、今後各支部の事業報告、決算を見ながら良いものは伸ばし、限られた予算の中で研究をしながら、進めていくということを、総務委員会で決定しております。そういうことで各地区の予算かれこれは皆さん方に資料として配ってありますけれども、これを参考にさせていただいて、またいろいろ提案をしていただき、再度理事会、総務委員会、三役会等で検討していけばいいのかと思っております。今迄が合併以来の事業等がそのままの状態、予算をつけているという状況でございますので、やはりこの際新しいものと切り替えれるものは切り替えて行き、より良い予算の使いかた、またこれから予算が少なくなっていくなかで観光協会としての財源をどのようにして確保していくかということを考えるときが来ていると思います。理事の皆さん方会員の皆さん方よろしく願いしていきたいと思っております。また行政のほうともよろしく話し合いをしていただき、できるだけ観光協会の財源を大きくして、できるだけ市の予算がこれから削られていっても大丈夫だというような観光協会にさせていただきたいと思っております。

(田口副会長)

事業委員会の委員長をしております田口でございます。9月の17日に会議を開かせていただきました。お手元の資料の19ページからが、中身がどういうことかといいますと、補助事業、業務委託といったものがあります。それについて議論をさせていただきました。その中で理事さんから大きく2点ございました。1点はそれぞれの地区あるいは、単発的に打ち上げ事業が行われる、なかなか横の連携が取れていない、例えばですけども私がイルカウォッチングしてますけれども、お祭りに来られた方にイルカウォッチングの宣伝をすとか、イルカウォッチングしに来られた方に宿泊だったり、何かイベントの案内をすとか、そういう連携を少しづつ取れたらどうかと。天草はどうしても夏のイメージが強いという意見がございました。夏場には集客数もある程度見込める。冬場の閑散期について繁忙期に対策を打ったほうがいい。2点目はいろいろな事業が補助事業の中であるんですけどもここ何年やられている事業も地区によってはある。ある程度年に3,000,000円投資したら10年で30,000,000万円投資したということになるんですね。そういった面からいけば、予算が縮小していくなかで、すでに事業として成り立っているものにも関しては受益者負担ですね。要はそれに携わってくれた方に自主的に

受益者負担を増やしていく、補助金があるからやるんじゃないくて、自分たちの事業が補助金があったがうえに成り立ったので、次は新しい事業に予算を配布していったらどうかかなという意見がありました。中身につきましては、昨年度の役員さんたちが議論をされてた事業が今回提案をされるという風になっていきますので、来年度におきましては、皆様方から出た意見も踏まえた新たな事業に取り組んでいきたいと思っております。

(一社) 天草宝島観光協会



(馬場専務理事)

ありがとうございました。総務専門委員会と事業専門委員会の両委員長のほうから報告していただきました。報告につきましてご質問ご意見等ございましたらお願いします。

(山本会長)

総務委員会から事業委員会に対してではなくて事務局のほうに、当日資料配布しますと書いてあるけど、当日資料がなかったのでできれば当日資料として内容が少し分かるようなものがあれば、皆さん聞きながらメモを取られてるので、メモが追いつかなかったり、そういったものがあるともっと分かりやすかったかなと。多分事務局が必ず入ってらっしゃるので、要点をまとめた資料なんかをこの次はつけていただければ、理事さん達も分かりやすいかなと思いますので、そこをお願いしたい。委員長さんから言っていただけだけでは、なかなか私も頭の中だけでは追いつかないので、少し文字としてあると分かりやすいなと思いますので。

(馬場専務理事)

総務委員会と事業委員会の中で事務局の方で参加された方補足などございませんか。

(事務局 赤木)

基本的に今おっしゃっていただいた内容で大丈夫です。

(馬場専務理事)

総務専門委員会に参加させていただきましたけれども、非常に活発な議論があり、また新しい方向に向けていこうというような意見がたくさん出ましたので、それをしっかり組みとっていきながらまた事業を進めていければなと思いました。

以上の意見のやり取りを行い、第2号議案総務委員会、事業専門委員会の報告を行った。

(3) 令和2年度事業計画(案)及び予算(案)

(事務局 赤木)

資料20ページをご覧ください。まず内容に入ります前に今後のスケジュールをもう一度確認をさせていただきます。今日の理事会を経まして10月中旬ごろに天草市の方に来年度の事業計画と予算の提出をいたします。その後天草市観光振興課の方と折衝しながら具体的な金額であったり、事業計画、事業内容の見直しをしていくと。それに合わせて総務委員会であったり事業委員会、理事会等で協議をしていただきながら来年の3月の議会後の理事会で令和2年度の事業計画と予算の承認をするという流れになります。今から説明する令和2年度の事業計画及び予算案っていうのは、まず一番最初に天草市に提出をする一番最初のたたき台というか

来年の事業計画になりますので、今日それについてご審議をいただければと思いますのでよろしくお願いたします。資料めくっていただきまして、ここから横になるので21ページ目になるんですけれども、こちらの資料でご説明をさせていただきます。事業の内容というよりも、事業計画の大本の所基本方針についてご説明をさせていただきます。天草宝島観光協会令和2年度基本方針九州一の観光地を目指して令和4年32万人顧客化プロジェクトということで、資料添付しているんですけれども、天草だけではなくて、よその観光自体がどういう状況かっているのを記載しております。グラフがモノクロで見にくいんですけれども、左側が国内旅行宿泊者数になります。右側が熊本県内の宿泊者数になりまして、どちらも国、県とも微増傾向にあるということでございます。本来であれば色分けをしているんですけれども、国内旅行者の数というのはあまり伸びていないというところなんです。宿泊に関して増加傾向の要因としては外国人宿泊者数の増加が微増の要因として考えられるというところでございます。続きまして23ページ目をご覧ください。天草に観光の現在の状況はどうかというところになります。左側が2009年からの天草市内の宿泊者数の増減のグラフになります。右側が月別の宿泊者数の数値になります。先ほど田口委員長からの説明もありました通り、8月が伸びて、1月2月6月が8月の半分くらいの落ち込みということと、宿泊者数に関しましては増加傾向というのは言い難い現状で、どちらかというところ減少傾向にあるんじゃないかなというところがございます。そういった状況を踏まえて私達観光協会としてどういったところを目指すべきかというところ、数値目標として令和4年年間宿泊者数32万人という目標設定でございます。人口減少著しい天草にとって観光協会は観光によって地域経済の貢献、地域課題の解決に取り組む組織として天草の価値創造と提供を行っていく。そのためにも目的と手段を明確にしマーケティングに基づいた事業を行っていくことで、目的を達成する。また時代の変化に柔軟に対応し持続可能な組織運営を行っていくということを基本方針としてあげております。25ページ目をご覧ください。令和4年32万人宿泊者数を目指すために具体的に今どういうことがこの数字から対策が必要かということなんですけれども、まず1つ目に繁忙期など連休に既に受入が非常に厳しい状況でもあるので、受入可能時期をしっかりと把握してしっかりとアプローチを行うということ。2つ目に関しましては、繁忙期については、宿泊者数を伸ばすと同時に、受入ができませんので、それ以上の満足度を上げるために付加価値の提供を充実させていくということ。3つ目に宿泊者数を増やすと同時に会員同士の連携、協力で滞在時間も同時に増やし経済効果を最大限に上げるということを考えております。次のページは資料なんですけれども、宿泊者数を増やすという目標設定に対して現状としては、宿泊施設数は約10年間で25件ほど減っておりまして、1日の最大キャパ数も1,000人弱くらい減っておりますので、中長期的に考えたときには受入の体制も同時に考えていかないという状況でございます。27ページが基本方針になるんですけれども、九州一の観光地を目指して令和4年宿泊者数32万人顧客化プロジェクト。この下は先ほどお伝えしたとおりでございます。4つの柱を中心に事業を展開していくということを考えております。まず1つ目が地域で稼ぐプロジェクト。ということで、宿泊数を増やすと同時に会員同士の連携協力によって滞在時間も同時に増やし、経済

効果を最大限に上げる。2つ目に天草だからこそプロジェクト。繁忙期は観光客数を伸ばすと同時に付加価値の提供を充実させる。3つ目に令和4年宿泊者数32万人達成に向けての事業で受入可能時期を把握しその時期に合わせてアプローチを行っていく。4つ目に組織体制の充実ということで時代の変化に柔軟に対応し、現状把握と持続可能な組織運営を行っていく。ということの基本方針として現状提案をさせていただきます。

(事務局 大塚)

28ページをご覧ください。その基本方針に基づいてそれぞれの事業について方針の下に書いております。事前に資料お配りしておりますのでご覧いただければと思います。29ページ、30ページが天草市より補助を受けまして実施する事業になっております。変更点のみを申し上げたいと思います。29ページ3誘致促進展開の所なんですけれども、平成30年度旅の思い出を募集しまして、新しいモデルルートの充実を図るということで今年度する予定にしておりますので、ここは見直しというところで書いておりまして、事業予算額令和2年度20万円ということで書いております。30ページをご覧ください。2観光に関する調査研究並びに情報の収集、提供というところで、1専門家による素材研究のところなんですけれども、じゃらん九州山口の人気観光地ランキングを継続するための専門家を招聘した勉強会開催というのをこれまでしていたんですけれども、勉強会のほうなんですけれども熊本県天草広域本部であったり、関連するところが既に勉強会を実施しているので、こちらの方に参加するというところで観光協会自身としては、実施しなくていいのではないかとということで見直し事業にいらしております。続きまして31ページをご覧ください。こちらは天草市より受託を受けまして観光協会が実施することで効果的効率的な事業ができるのではないかとこの所で提案をする事業になっております。31ページの2招待事業及び誘致活動推進のところなんですけれども、こちらは九州観光推進機構、県などと協力をして報道関係や旅行会社の招待事業をしていたんですけれども、各事業観光商品開発だったり、キャンペーンだったり連携する事業がございますので、そちらの方の予算を使うということで事業の見直しをしていいのではないかとということで記載しております。2おもてなしの向上のところには現在みつばちラジオを使いまして島内の住民に向けて天草の観光素材の情報発信をしているところなんですけれども、世界遺産を受けまして2年間現在実施しているところなんですけれども、ある程度の効果が見られていますので、こちらは見直しでもいいのではないかとこの所で書いております。32ページをご覧ください。情報媒体の作成のところでは本年度スマホのアクセスが増えていますので、それに対応したホームページのレスポンスのデザインに変更することにしておりまして、こちらは本年度中に実施が終了致しますので、その分の予算が見直していいのではないかとこの所で書いております。4外国人観光客誘致こちらは先ほど局長からも説明がございました通り、外国人観光客の割合で宿泊数も他の観光地は増えてますので、天草としても事業をした方がいいのではないかとこの所で、こちらは100万円程予算が増えている状況になっております。33ページをご覧ください。自主事業としまして観光協会ホームページ上で宿泊予約ができるサイトがあるんですけ

**(一社) 天草宝島観光協会**

れども、そのサイトのシステムを活用し手数料収入を得るということで現在実施をしているんですが、なかなかお宿からの空を入れていただけてなくてこのシステムの活用ができていない状況なので、ここは見直したほうがいいのではないかとということで掲載しております。以上の所が事業のほうになります。予算については城下チーフよりご説明いたします。

(事務局 城下)

34ページ一般会計収支予算案をご覧ください。収入の部会費収入5,700,000円、補助金収入61,315,000円、雑収入350,000円、繰越金1,435,000円、負担金2,100,000円、収入合計70,900,000円となります。35ページ支出の部をご覧ください。事業費の合計額が33,100,000円、運営費が37,800,000円、合計で70,900,000円とさせていただきたいと思います。次の36ページが各支部から予算要求があがっておりまして真ん中の令和2年度要求額が各支部からあがってきている要求額でございます。合計で13,411,000円となります。37ページから56ページまでが各支部の事業計画案と予算書がそれぞれついておりますのでご確認ください。以上になります。

(馬場専務理事)

令和2年度の事業計画案及び予算案につきまして事務局の方から報告がございました。皆様の方からご質問等ございましたら、聞きたいと思います。大塚さんの方から説明していただいたのは、四角で困んであるところが見直しの対象というところで。

(事務局 大塚)

はい。

(馬場専務理事)

ほぼほぼ減額のところで計画をしているけれども、32ページの外国人観光客誘致に関しては増額をしているということですかね。

(事務局 赤木)

そうですね。はい。

(馬場専務理事)

事務局の方でも、委員会の方でも検討をしてこられて、これはもっと減らしていいんじゃないか、もっと増やすべきじゃないかというそれなりの根拠があつての計画、金額だと思えます。皆様方からご意見がございましたら。

(松本理事)

総務委員会でもいろいろ各支部から上がってきた予算にこれとこれはどうなんだろうという意見がでてきております。各支部によって、似たような事業はこれから先1本にまとめて、それを本部事業として組み込んでくればまた予算かれこれもだいぶ違ってくるし、とにかく現在出ているなかでも、前々からの事業でどうなんだろうなっていう事業も何点かあります。そういうところを、やっぱり改めていただいて、今度また新しい事業に切り替えていただくのか、というような意見もありました。あまり名前を出していないのはですね、そういう観点から事業名を出しておりません。委員会の中ではある程度のここはどうなんだろうという意見も出ましたけども、そこまでここで出すあれかなというのがあって、そういう事業を皆さんから見えて、これとこれはどうなんだろうという風に考えていただくのも1つの、我々総務委員会でこれとこれと指摘をするよりも各委員方々で考えていただくのも1つの案かなと思っております。

(濱崎理事)

各支部予算もう少し詳しく理事さんに説明したほうがよくないですか。観光協会で観光協会としてやる事業、地区振興会とする事業を収支決算が出ていないので、委員会の中で話合うと時間がないのでできたら事務局長、観光課長、事業仕分を行ってもらおうとどうだろうか。

(事務局 赤木)

事務局と観光振興課では、事業仕分けができないので、その基準がないのでルールをまず作りましょうということで、次回の総務委員会でルールのたたき台を一旦事務局から出させていただくっていうことでだったと思います。

(松本國雄理事)

はい。そういうことで。

(馬場専務理事)

なかなか支部事業の小さい細かい所までは目の届かないところもございますが、やはり費用対効果っていうのがどれだけあっているのか、そしてもちろんお金だとか人がどれだけ来たのか地域でこれからの担い手が育っていくための1つのイベントそれはそれでまた必要な部分でもあります。そういうのも含めてですね、やはりこれから予算を要求していく中で新しいものに変えていく。当然どういう目的で支部事業やっていくのか、その辺のとこをきちんと企画書とか出していただくようそういうルール決めに総務委員会の方でした方がいいんじゃないかということで会議では出たところです。ですからまたそれについてはこれからしっかり進めていって、ただ単に今までこれですとやってきたからこれで今年もお願いします。というそういうやり方はやっぱりこれからは辞めていこうよ、ということが総務委員会の中で決まったということで委員長よろしいですか。

(松本國雄理事)

はい。

(馬場専務理事)

それと総務委員会では話は出なかったんですけどもそれ以外の分は事業委員会で意見としていただいて、特にこの補助事業とか受託料、自主事業とかこの中を精査していくというようなことでこちらへんの見直しも事業委員会の方で話をしてもらったんですよ。検討して頂いて、このような形で理事会でかけて頂いているということですよ。

(会長)

事務局の方にもお願いしたことでもあるんですけども、今回新しく塚本さんが東支部の担当ということでされてるんですけども、今見ていただいても分かるように東支部ってなってるんですけども、栖本、倉岳、御所浦という3地区で予算書が出ていますよね。これを1本化して行ってほしい。なかなか難しいというのは分かるんですけども、東支部という風になっているので、できれば東支部というような形で1つにさせていただいて、理事の方々も集まっていただいて話をしたいなと思って、それを進めてほしいということをお願いをしています。なぜかという、地域間のことですので難しいことがあるかなとは思うんですけども、1つ具体的な例で言うと倉岳の鯛釣りのときも漁船が少なくなってきていて、なかなか漁船の調達が難しいと。東支部という形になっているけれども御所浦の方からはなかなか漁船が借りにくいなど、周りの地域で連携してやっていくような状態にまだなっていないというような状態で、本渡の方からしてみると地域間で協力するというのは難しい事なのかもしれないんですけども、折角東支部という栖本、倉岳、御所浦3つの地域が1つの東支部になっているので、できれば協力してもっと伸ばせるような所は協力し合って伸ばしていく、鯛釣りというのも漁船が増えたりすると、もう少し利便性が増えてお客様の数が増えるんじゃないかという意見もあるということをお伺いしたので、できれば今までは倉岳地域でやっていたことなので難しいかもしれませんが、1度東支部というような形で集まっていただいて、みんなで行くという流れになんとかできないかということをおっしゃるので、すぐには難しいかもしれませんが、今年度の間になんとかみんなが集まって一緒にするではないですけども、一緒に話をさせていただいて来年度からは東支部という1つの形を出していただくとわかりやすく、組みやすいので、もっといろんなことをやりやすくなるんじゃないかなと。ただ地域のことだけでお願いすると、支部長さんだけにお願いするというのはなかなか難しいので、事務局に入ってください。呼ばれれば私も行ってお話をしたいと思っておりますので、ぜひそこを進めていただければなと思っております。

(下田貴久理事)

いろいろ聞いてて、イベントが多いなと正直思いました。そもそも事務局が対応できるのか

なと思いました。見えない仕事をしてるのは多分事務局なんですよ。それに対して、見た感じ事務局は若い人ばかりじゃないですか。役員の方々から言われるとしないといけないと思うですよ。もうちょっと事務局が動きやすい体制が一番良いと思います。なんか、天草市の観光協会は尻が軽いなというくらいならないといけないのに、いつ行ってもずっと机で一生懸命しているので、これでは対応できないようになっていくのではないかと感じてですね。

(濱崎宗治理事)

4番目に外国人観光客誘致に2,123万円についているかと思います。インバウンドは、交通アクセスの問題もあり、どうですかね1%以内ではないか現状で。今後伸びる予知もあまりない。福岡、長崎近いということで。今後外国人の誘致を目指すというよりも、九州内、関東、関西の方に目を向けていったほうが天草は伸びていくのではないかと。インバウンド、インバウンドとして無理してインバウンド。長崎の方に泊まってイルカウォッチングする外国人はいるでしょう。

(田口京重副会長)

昨対も見てみますと、語学力が追い付かんですから結構苦勞をしております。

(濱崎宗治理事)

下田の方はインバウンドが伸びてない状態。私はエージェントから、イルカウォッチングに行くお客様は、宿泊は天草ではなく長崎、県外のお客様がイルカをしに来ていると聞いた。

(田口副会長)

まあそれもあるでしょう。ただ個人のお客さんも確実の海外の方は増えています。

(濱崎宗治理事)

難しい問題ではないか。

(馬場専務理事)

今に話についてこの間、上天草市の観光協会の方とお話をしたんですが、外国人の観光客の数が圧倒的に多くて、これで外国人観光客のインバウンドをやってなければ上天草もどんどん落ちるばかりで、全然話にならないということで、上天草も力を入れるということになったそうです。そういう特にシークルーズの宝島ラインなんかは三角から松島への船で入る人は外国人の方が多いですよね。だからいろんなことを考えていかないといけないんです。先ほど下田理事の方から話もありました件については、事務局がもっともっといろんな意見を出していきながら、活発にやれるようなそういった体制づくりも重要なと思いますし、会長もその辺は非常に考えておられますので、こういった所がいろいろ問題だとか、課題だとかあればぜひ言ってください。その中で理事会の中で揉んで変えられる部分があれば議論してやっていきたい

と思いますので。

(田口副会長)

下田さんが言われたことがこの問題であると思うんですね。事務局ってあれだけしかいらっしやらないから逆に私達も各支部に、事務局の中でこれとこれを合わせるとなるとたぶん費用対効果からみるとやらなくていいんじゃないかと提案をしてもらって、その中から決めていただくことがいいんじゃないかと思います。

(馬場専務理事)

そういうのをこの理事会で議論していったですね

(事務局 赤木)

ありがとうございます。

(山本会長)

先程の下田さんの言われたように、いつ来ても事務局が忙しそうですね。リクルートかじゃらんから出向で来られた小野さんがいらっしやったときには、結構宿泊施設をずっと回られていろいろ一緒にお話をして企画をして観光協会と近くなって情報のやり取りができてたんですけども、今最近はずっくり茶を飲みにも来ないというような話を聞いてて、ただそれが言われたようにできる状態ではないなと私も事務局に行って思っているんで、今毎月事務局の3ヶ月先のタイムスケジュールの打合せを毎月やっています。今この月から3ヶ月間どういう風な業務を受け持ってどういう風に進めていくのかそれを一覽で出して頂いて会長として話をしていの中でやはり事務局の中でも先ほどの件が出てるように、これはやる意味があるんだろうか、そういったものがもしあるのであれば私の方に言っていただきたい。私がこれはいらんんじゃないかと判断できる程の情報を持ちません。事務局が今まで抱えてきた中にこれは必要なのか、これは必要じゃないのかそうした物の中で必要じゃないんじゃないかというようなものがあるのであれば私の方に教えていただきたい。その時に諮って、進めていって業務の整理を行いたい。私が会長に変わった時に一番最初に言ったことなんです。事務局改革のなかで業務の整理というのはきちんと行っていきたい。観光課の課長さんともお話をしたときに、役割分担という話を先にさせていただいて、行政がやらないといけない部分と観光協会がやらないといけないという線引きをきちんと行って業務を整理して、お互いにちゃんと役割分担をしてやるべきことの協力をやろうと話をしておりますので、一緒に事務局改革といいますか、内容の改革を行っていきたくて思っておりますので、いろいろ意見がある場合は言っていただければそれをもとに進めていきたくて思っています。私はできるだけ会員さんと事務局が仲よくといったらおかしいですけど、連携をとって会員さんが儲かるふうにしていきたい。課長にも言ったんですけど、公平性を求めて全員の人たちのために公平にやらなければいけないのが市であれ



ば、観光協会は会員企業は商売人なので商売がもうからないと成り立たないので観光協会に入ってよかった、観光協会に入って儲かったというような形に持って行きたいと思っています。情報共有などどういうふうにしていけばいいのか、先程濱崎理事からあったように昔のデータばかり見てこの先の事に手をうたないのかというような。お互いに情報交換できていければ、うちはこういうことをやってるよとか、うちはこういうことしたから今があるよ。ということ会員同士で情報交換できるようになれば、全体的に伸びていくんじゃないかなと思っているので、ぜひともそういうふうな情報をお持ちだったらいろいろな意見があるときに言っていただければ私も自分の会社のデータを持ってきて時間があつたらその他と所で話をできればなど思って書いてきたんですけれども、この後時間があるようでしたらうちの会社の状況を少しお話をしたいと思っておりますので、それぞれの所が情報をお持ちであつたら理事会の最後に話をさせていただけたらと思いますのでよろしくお願いいたします。

(馬場専務理事)

他に何か意見とかございませんか。

(山本会長)

外国人誘致とかは予算にのってるけど具体的な事業はまだ考えてないということよね

(事務局 赤木)

はい。

(山本会長)

使わない場合もあるということよね。

(事務局 赤木)

使わない場合もありまし、市から具体的に出さないとダメと言われることも考えられます。そこは事業委員会だったり、理事会等で皆さんから意見を伺いたいと思います。

(山本会長)

こういう風に使った方がもっとよりよく効果がでるんじゃないかというような場合は、理事会で出たときに市と折衝して用途をかえることは少しあるのか。今決めた事を完全の消化しないといけないのは難しい。だめなことをやろうとしているのではなくうまく結果につながるようにしていければ、お金は活きた使い方で使うのが一番。アイデアを出していただいて。今年できないのであれば来年それを活かして、再来年の予算要求に活かすことができると思うので、いろいろ考えてらっしゃる部分があれば教えていただければ。

(馬場専務理事)

中身についてはしっかり検討してやって行きたいと思います。特にインバウンド対策とかよそが成功したのはどんな対策をやっているのかそういうことをやっぱり活用しないと。後ほど赤木事務局長の方から報告があると思えますけれども、今回の視察の結果についても報告をしていただきたいと思います。それでは令和2年度事業計画案予算案についてこのまま進めてよろしいでしょうか。

(各理事)

はい。

(4)新規会員について

(事務局 城下)

57ページに新規会員つけておりましたけれども、追加がございましたので本日お配りしている資料をご覧ください。新規会員の加入について、定款第7条の規定に基づき入会申込があったものについて理事会の承認を得るためのものである。正会員有限会社マリントゥーリスト牛深、牛深支部1口10,000円、株式会社アト・みらい本渡支部1口10,000円、萬屋紙店牛深支部1口10,000円、嶋田屋天草支部1口10,000円、DININGOVERTURN本渡支部1口10,000円となっております。退会は報告になります。はまさき実業牛深支部1口10,000円、三八食堂牛深支部1口10,000円、有限会社天草西部ガス商会天草支部1口10,000円、有限会社熊日牛深販売センター牛深支部1口10,000円、あそか食堂牛深支部1口5,000円、有限会社船崎水産五和支部1口10,000円となっております。

(馬場専務理事)

正会員の入会申込及び退会のことに対して質問等ございませんでしょうか。

(山本会長)

アト・みらいさんその他になってるけど養護施設。

(事務局 城下)

障がい福祉サービス事業所となっています。

(馬場専務理事)

退会の濱崎昭臣理事のこの会社は。

(事務局 赤木)

もう一つ旅館はまさきさんで入ってらっしゃって、そちらに。

(馬場専務理事)

だからこっちの方は退会ってということですね。

(事務局 城下)

もう1つ退会で有限会社熊日牛深販売センターなんですけれども、入会の萬屋紙店さんと同じところがされていて、熊日さんでは辞めて萬屋さんで入りなおされてます。事務用品とかOA機器の販売をされてるそうです。

(馬場専務理事)

こちらでよろしいですか。この件についてご了承いただけますか。

(各理事)

はい。

(5)その他

(事務局 赤木)

別紙でホッチキスを左上に留めておりますタイトルがインバウンド対策のための海外(フィリピン)視察報告書をご覧いただければと思います。私の方から2点こちらともう1つ報告させて頂ければと思います。馬場専務理事からもありました通り先週9月24日から27日にフィリピンのほうに商談会の参加及び視察ということで3泊4日で行ってまいりました。天草市であったり、天草ほんど観光旅館ホテル組合の方、エアラインの方と通訳の方含めて10名で行ってまいりました。なぜフィリピンかというところまず2年前から民間企業の方とフィリピンの方と天草は相性がいいんじゃないかという所で商談会など交流が行われております。今回7月にフィリピンの旅行会社の方が天草の方に視察に来られまして、ほんど旅館組合の方からご案内をいただいて一緒にもっと商談会などを、エアラインと一緒にできないかということで、向こうの現地の方とご相談をすることができることになりまして今回、24日から行ってまいりました。3泊4日の間に商談会を3回させていただいて、JALの支店長と意見交換等をさせていただきました。下の感想の所に行った感想をまとめているんですけども、まずフィリピンに関しまして先入観で発展途上国のイメージを持ってらっしゃる方もいると思いますが、非常に勢いのある経済成長の著しい国であるという事を行って実感させていただきました。平均年齢23歳ということでこれからの国であるということと、貧富の差はかなり激しいんですけども富裕層の方に関してはもう日本にいらっちゃって、東京、大阪、京都、北海道以外の次の場所を日本訪問場所として探してらっしゃるということと、国民のほとんどの方が英語でしゃべることができまして、私ほとんど英語しゃべれないんですけども、ぎりぎり話せるぐらい会話が、例えばスマートフォンとかちょっとしたものを使えば、慣れてる方であれば英語なので受入はしやすいんじゃないかなと思います。8割以上の方がカトリックの方で天草の世界遺産、今度口

一マ法王が来日されるんですけれども、そのことに関して非常に関心をもってらっしゃいますので、天草との相性もいいかなというところがございます。国民性ですけれども、島国ですので天草とも非常に近くて、優しく、気が利いて、非常に勤勉であると。時間には相当ルーズですけれども、それ以外は日本人と非常に相性がいいかなと感じました。JNTOとJALの方からも言われましたが、濱崎理事からもあったんですけれども、インバウンドを進める上で一国の国にターゲットを絞るのはリスクが高いということで、例えば英語圏であるとか、日本にヘビーリピーターで来られてる方で東京、大阪以外で3回目、4回目以上の日本旅行の訪問地、もしくはカトリックとかそういったくくりでターゲットを絞り込むっていう方法がいいんじゃないかというようなご提案をいただきました。今後そういった所含めて事業の方に反映できればということで報告をさせていただきます。2つ目が出水長島天草地区観光推進協議会というタイトルの資料を説明させていただきます。平成24年3月11日にこちらの牛深支部の支部長中心に発足したんですけれども、鹿児島県の出水と長島の観光協会と天草の宝島観光協議会の3地区に渡る観光協議会の発足が話合われて、その後平成24年に発足されたという状況でございます。現状一時脱会等の話がありましてこの協議会自体が存続が厳しい状況になったんですけれども、濱崎支部長を中心に今年4月26日に再度集まりまして、当観光協会より永田前会長に出席いただき、牛深支部の役員さん7名と各長島、出水の観光協会が集まりまして、再度出水長島天草地区観光推進協議会を進めていこうと話合いを進めています。後ろのページを見ていただきたいんですけれども4月26日に話合われた内容といたしまして、3地区の会長につきましては輪番制で、今年度と来年度のつきましては天草宝島観光協会より選出というこよで山本会長が現状この協議会の会長にあたるということになります。次回開催は8月とするということで、会議開催ができておりませんので今後開催をしたいと考えております。その下に表を載せているんですけれども、こちらが天草側の会議に参加する役員名簿案でございます。本来であれば牛深の濱崎支部長に説明をしていただきたかったところなんですけれども、今日私が代理で説明しております。一旦この役員の案で、次回の会議に参加をさせていただいていかどうかという報告と、みなさんに情報共有をしたいと思ってお時間をいただきました。

(馬場専務理事)

フィリピンへの視察の報告と、出水長島天草地区の観光推進協議会のことについて話がありました。ここで了承を得なくていけないのは、この役員をすすめていかの話。

(事務局 赤木)

これで次回参加しますという報告になります。

(山本会長)

インバウンドの商談会に出席をしたことがないので、よくわからないんですけれども本渡の

**(一社) 天草宝島観光協会**

観光旅館組合が行ってるってことはそういう旅行商品ができて、お客さんが来たりとかそういうのに繋がる商談っていうのが主なのかなと思うんですけども、観光協会の事務局長として行ってるので本渡のホテル旅館組合の方々は直接行ってるので、情報共有できるんですけども、その他の旅館業、ホテル業の方たちはそういう情報が全然行かないという状態で宝島として行ったとなると不都合もあって商談の内容とか詳しいものに関してはホテル業の方々に話をさせていただいて、もし進めることができるのであれば、それぞれの各旅館さん達で考えていただけるように情報共有もしていただけたらなと局長にはお願いしたいと思います。

(事務局 赤木)

わかりました。

(山本会長)

三地区の協議会というのが、全然私が知らずに天草出水シャトルバスの時に、長島、天草、阿久根の観光協会長さん市長さんともども会談した時には全くこの話がでなかったので存じ上げなかったんですけども、4月の段階でこの話が進んでいて天草地区からも7人が出て話をするところまで決まっていたと、実は8月に集まって話をするところまで決まっていたらしいんですけども、8月にもできていないということで牛深の濱崎支部長からどういうふうになっているのか、なぜ進んでいないのかというようなご意見をいただいて事務局と話をさせていただいたときに流れを初めて聞きましたので、急ぎ事務局長のほうに宝島が事務局となっているのであれば長島、阿久根と話をさせていただいて委員会を行う段取りをつけてくれ、その時に私も会長として参加をさせていただいて、具体的になにをするというような話でもなく、予算があるわけでもないので事業がなにかできるわけではないんですけども、情報共有を行ってこれからどうしていくのかというのを話し合うということですので、それに参加した後の報告というのも皆様にきちんと出させていただきますので、もし予算が必要で各協会から予算を出さなくてはいけないということになればですね、また検討させていただいて、理事の方々にもきちんと金額のお諮りをしようと思っておりますので、協議会の事務局を宝島がしているということだけ理事のみなさんに分かって頂ければと思いますのでお願いします。

(濱崎宗治理事)

フィリピンの商談会はどこが企画したと。

(事務局 赤木)

企画ですか。一番最初は天草ほんど観光旅館ホテル組合さんがされました。

(濱崎宗治理事)

天草ほんど観光旅館ホテル組合の方と、同行して天草市と局長が行ったわけだろう。

**(一社) 天草宝島観光協会**

(事務局 赤木)

もともと視察の旅行だけに行かれる予定だったんですけれども

(濱崎宗治理事)

旅行だけに行くのにあんたが付いて行ったのはおかしいのでは。観光協会から旅行だけでは駄目だよ。事務局としてはいかんよね。望洋閣の藤本あたりは、会費を上げるのは構わんと思うけれども、使い方を考えてもらわなければ会費を上げたくない状況の中で、旅行目的でされているのに、天草市と観光協会からね。経費はどこから出るの。

(事務局 赤木)

私の経費は観光協会からです。

(濱崎宗治理事)

でしょ。観光協会から経費は出ているのでしょうか。下田温泉でどこか行きますよという時に、じゃあ事務局が同行してくれるかという問題と、今いうように私はインバウンド対策として、本来ならば香港、台湾、中国、インドネシアとっている。インドネシアは人口もいるし、経済も発展しているし、2憶以上はいるし。フィリピンから来た人はほとんどいませんよ。日本人がフィリピンに旅行に行くことは聞きますよ。もともと旅行目的という自体がね。

(山本会長)

今回の経緯でいいますと。最初が旅行だったかどうかは私は知りませんが、私が事務局長から聞いて話をしたときには、天草市を含めた商談会という形で行くということだったので、それだったら観光協会として行ってよろしいということを書いて私が印鑑を押しました。その代わりに先ほど言ったように本渡の旅館組合が企画をされたのに同行するとなると、今言われたように下田の旅館組合を商談会について行くのかとかいろいろそういう風な形になっていくので、まず条件として天草市が力を入れていく、商談も行うということだったので宝島観光協会として行ってほしいと、その代わりに先ほど言ったように本渡の観光旅館組合の方々は情報共有してはいますが、今回有益な旅行だったり、商談の内容だったりというのはきちんと他の地域の旅館、ホテルの人にも流していただいて、判断はそれぞれの会員さんのおのおのですね。ただそれを着いて行って旅行だけでしたというのであれば、それはなかなか認められないので。天草市が係わったその団体であれば、宝島観光協会としても一緒に着いて行ってどういう風な内容だったのかというのを会員の方々にもきちんとお伝えするということが、市との連携というような意味も込めてしていくということが必要じゃないかと思えます。今言われたように、なぜフィリピンだったのかというと私もなかなかわからない部分なので、もしインドネシアがいいとか、ヨーロッパがいいとかそういうのがあれば、話を上げていただければ今度のインバウンド対策の予算という中で天草宝島観光協会として、その国と相談ができるように話を

持っていけないかなと、持っていけるんじゃないかなと思うので、そういう情報がたくさんあればご意見いただきたいですね。私には宿泊ではないので、この情報がなかなか入ってこないのではどの国がターゲットとして相応しいかわからないですけど、私には判断がづらいですよと。

(濱崎宗治理事)

私が言いたいのは、天草市が主催するのであれば、本渡、下田、牛深に声をかけて。

(中村理事)

フィリピンの商談会については、流れる的にフィリピンとの交流といいますか。以前新聞で見られた方もいると思いますが、フィリピンの方から旅行会社が来られたりとか、その前にはネグロス島からも観光大使ということで起こしいたいてぜひ天草になんらかの形で交流をしたいと。産業もうちの2名は、観光と産業なのでそういうものに結び付けられるのではないかとということで、フィリピンからの訪問とかそういうのがある中で、7月に旅行会社が来て本渡の旅館組合と話をされまして、本渡の旅館組合だけではなくて市役所の方からも行ってセールスも含めてやっていいというような話がありまして。ただフィリピンで流れがあってフィリピンなんです、月収的には普通に生活されてる方には、日本人なら3万とか4万とか非常に格差が大きい。その中でも富裕層も非常に多いです。富裕層の方たちは日本に来られてる方たちも多く来ていらっしゃるということで、結びつけていけないか産業関係で実際天草でもエルネイチャーの方たちもいらっしゃいますので、そういう流れの結びつきでフィリピンを選びました。それ以外にもインバウンドはどこをターゲットにしたらいいのかというのが非常に難しくて天草市と上天草市、苓北町と連携しているVISITあまくさでは、今は台湾をターゲットとして商談会とか行っている部分もあります。天草の中にもインバウンドは入れなくてもいいという方もいらっしゃいます。だんだん日本の旅行者も少なくなっていますので、外国からも来た方がいいのでどんどん力を入れてくださいという方もいらっしゃる中で流れる的にインバウンドも力を入れていかなければいけないなというもありまして、今のところは台湾をターゲットにしているという状況ではありますが、その中の1つとしてフィリピンも、ネグロス島の州知事も天草に対して好意的で天草に来て頂く人増やそうということで、今回行かせていただきました。長くなりましてすいません。

(馬場専務理事)

インバウンド対策をこれからどうしていくかということは、やはり相手の国を知らないことには話は進んでいきませんので。

(濱崎宗治理事)

そういうことを聞いてるんじゃないくて。

(馬場専務理事)

旅行感覚で僕も報告を受けたわけではないですけど、これからの成果に対してやはり事務局長きちんと報告をして、フィリピンはこういう所だったと、これからの可能性としてはこうだということの報告書を書いて各天草の旅館組合とかにも報告を出してください。会長以外にも。それでやっていきましょう。

(山本会長)

事務局が勝手にしてるわけではなくて先ほども経緯としても言ったように本渡の旅館組合が行くからとといった形で行けばいいよと云う訳ではなかったの、天草市も一緒にということだったので私も事務局長に行ってきたほしいと言いました。これを理事会に諮って協議をかけてどうしますかということは難しいので、そこは私に一任をさせていただければ、それは理事の方たちにも承知で。結果が果たして費用対効果があるのかそれは重々承知ですので、そのご意見はきちんと出していただいて言われるように成果を出していかないただの物見遊山の旅行になってしまうのではないかと言われたら仕方がないことなので、そういわれないように事務局長成果を出していきましょう。そういうことをしっかり肝に銘じて視察旅行というような形ではなくてやって行くしかないと思っています。なので先ほどから言われてるように北歐旅行に何百万ということそういう事に私は許可はしませんので。

(濱崎宗治理事)

天草長島の会議に、マイクロバスを借りて用意したのに、会長と事務局は別の車で来たと言ったマイクロがあるわけですよ、会議に遅れて来たと言った。永田会長は商売して帰ってきたと。このために行った訳でなくて自分の商売のために行った。牛深の理事がそう言ってるんですよ。フェリー代も二重かかっているんですよ。

(山本会長)

それは永田会長がっていうことですよ。

(濱崎宗治理事)

それを私が報告受けたものだから、なんでマイクロバスを借りているのに、フェリー代もないじゃないか。自分の商売をしてきて、会議にも遅れて来ているんですよ。

(山本会長)

はい。わかりました。私はそれはやらないので肝に銘じて皆さんと一緒に乗っていきます。



(馬場専務理事)

はい。そろそろ時間でございます。個別の事に関してはこの理事会のなかで云々ということではありませんので、これで閉じさせていただきたいと思います。

(山本会長)

井井フェアと伊勢えび祭りの実績が分かれば報告してもらいたいです。数字ありますか。井井フェアはまだ出てない。

(事務局 吉田)

今日を締め切りにしています。

(事務局 大塚)

伊勢えびは出ております。8月分だけがでているところなんですけれども、8月21日からスタートしてから10日間程度の数字になるんですけれども、利用者人数が824人、宿泊及び食事のみを含めた数字になります、前年度が、申し訳ございません。本年度8月いっぱいの数字が740名です。売上の合計が千二百万程度になっております。平成30年度と同じ期間が、824名で売上が千四百万です。

(山本会長)

7割、8割程度な感じですね。

(事務局 大塚)

そうですね。

(濱崎宗治理事)

去年に比べたら今年は落ちこんでるもんね。

(山本会長)

うちが伊勢えび祭りには参加していないんですよ、宿泊施設さんなのでですけれども天草伊勢えびというイメージですごく伸びるんです。うちも伊勢えび御膳というのを8月から12月の伊勢えび祭りの時だけに合わせて作ってるんですけれども、数字がものすごく出まして8月の伊勢えびのお造りがいけすやまもとで17匹、禁漁期間で数がないというものもあるんですけれども、7月は9匹、6月12匹、5月13匹、4月15匹とそれぐらいなんですけれども、9月はお造りだけで23匹、伊勢えび御膳が61人に注文を頂いております。波及効果ですね。昨年伊勢えび祭りに参加されてる宿泊施設だけで2億四千万円売上があったかと思うんですけれども、波及効果というのが大きくて、天草に来られる方伊勢えびを食べられると思って他の

飲食店とかも伊勢えびの受注が多くなってると思います。魚屋さんもいらっしゃるんで伊勢えびがすごく売れるっていうのは分かってらっしゃると思うんですけども、やはり波及効果が大きい事業だなと思うので、そういう所にしっかり予算を集めて、伸ばせるような所は伸ばすようなことをきちんとしていきたいと思っています。天草市の方と話をしたときにも受益者負担の法則ではないですけどもそれだけ売り上げが上がるようなイベントに育っているのであれば参加店舗の参加費の比率を上げて予算の自己比率を上げていただきたいと、あくまでもその予算を確保して市から予算がおりのわけではないと。それはきちんと考えてくださいと。結果が出ているような事業であっても毎年同じだけの予算を出していけないということではない、今から先全部の課、観光課だけではなくて全部の課の予算が一律減らされていく。結果は出し続けていって要求はきちんとしていきますけれども、自分たちでも自主財源を増やしていく努力をしないと予算を上げてもらうのはなかなか難しいと思うので、そういうことを理事の皆さんには考えていただいて、それぞれの支部事業であったり、まずはやっぱり結果を出す。そのためには数字、データをしっかりとってそれをもとに折衝をしていく。その中で成り立っていくのであれば、事業費を少しずつ挙げていくそれとは別に観光協会独自の自主財源というのを増やして、自分たちで自由に使えるというのはおかしいですけども、もう少し幅のある予算の使い方ができるように自主財源を増やしていくようというのを一緒にやっていかないといけないだろうなと。そのためには下田理事が言われたように事務局がもう少し時間を作ってください自分たちで稼げる事業にも時間を割いていくというか、もっていくということも必要ですので、そういったことも含めながら各支部の話し合いの時にも少しこの話をさせていただければ、今までやっていた事業の報告というのがなされていない部分もありますので、きちんと報告をしていただくようにして来年、再来年に繋げていけるようになればいいなと思っておりますので、ぜひ協力をよろしくお願いします。うちが6月決算で7月、8月、9月の3ヶ月で4,000人お客様減っています。昨年対比で。ですので、うちだけなのかもしれないですけども、天草全体的に来島民が、お客様が減ってると思います。うちの客単価が1人2,500円で、4,000人減ると、一千万円くらい減るんですよ。月に300万以上売り上げ減。なかなか苦しい状態です。よそがすごく儲かっているという話は聞きません。だからどこも苦戦しているんだろうなと思いますので、先程濱崎理事が言われたように天草全体的に落ち込んでいるのでどうしていくかという話を真剣にしていかなければ、こんなことを言っているばかりでは先が見えませんが、これからどう手を打っていくのかというようなアイデアが出るまで、出るような話になるまでこの理事会もっていききたいなと思いますので、そういったことも含めていろいろ考えてご意見をいただければと思いますのでよろしくお願いします。

(馬場専務理事)

ありがとうございます。この名簿は各支部に渡してあると。

(事務局 城下)

失礼しました。各支部長様だけに未納の方の名簿を机に置いております。

(馬場専務理事)

会費の未納の一覧配っていますので、回収の方お願いします。それでは他にございませんでしょうか。

(濱崎宗治理事)

専務理事って書いてありますけれども、専務理事は常勤、非常勤の専務理事は聞いたことがないんですけど、私わからんとですけれども、なんのための専務理事やっつですか。

(山本会長)

常勤というものだと規約の中に決められていて給料が発生したりとかいろいろそういったものがあるのですね、専務理事という名前じゃなくてもいいのかなと思いますけれども、私が良い名前が浮かばなかったの、専務理事というふうになりました。

(濱崎宗治理事)

専務理事は、常勤で事務局長が職員で専務理事は役員、執行部ですよ。事務方がしっかりしていないから、専務理事を置くのが通常。非常勤の専務理事がなにか。もう一つは、熊日新聞記事の中で会長は天草の観光は民宿が支えてきた。民宿が後継者不足で困っている。天草の民宿が観光を支えるということは、どういうことかな。観光が分かっているのか。どういう観点で民宿が支えてきていると思うのか。

(山本会長)

宿泊施設が減っていると、その中で民宿とかが一番減ってるというような話はしました。

(濱崎宗治理事)

そういう風には書いてなかったと思うけど。

(山本会長)

私も読んだんですけどそういう風に書いてなかったと思うんですけど

(専務理事 馬場)

会長の説明で意図してることと違う内容で書いてあった。

(山本会長)

今日あったように、120とか130くらいあったのが90施設、31減、そのほとんどが民宿、旅館なんですね、130ぐらいの施設があったところが、毎年減ってきてこの10年間で30施設減って、1日の宿泊者数が1,000泊ぐらいは減ってるというような状態でこれがどんどん進んでいって、なくなっていく、ですのでそういうところ後継者もきちんとできるようにしていかないと大変じゃないかという風な話はその記者さんにしたんですけども、民宿が支えているとか、民宿がというような話は全然した覚えがなかったですね。もう一度見直して熊日さんの文句言いたいと思います。今日読売さんの取材も受けたので、もしまたそういうことがあれば言うていただければ、読売の方にも文句を言いたいと思います。そういう意思は全くありません。

(専務理事 馬場)

それでは閉会をしたいと思います。今日は長時間に亘りましてありがとうございました。今後いい理事会になるように頑張っていきたいと思いますのでご協力よろしくお願いします。

(浜理事)

先程質問のあったあれはどうすると、専務。

(山本会長)

専務の名前ですね。

(専務理事 馬場)

何か良い案があったら教えてください。

(山本会長)

次の理事会の時にいい案がそれまでにあれば、教えてください。専務理事という言葉には何もこだわっておりません。いい案があればすぐに変えますので。

(専務理事 馬場)

それではこれを持ちまして閉じたいと思います。